

街道松について



さいごく 街道松（西国街道）

旧国道筋は江戸時代には西国街道と呼ばれ、大阪から長崎に通じる重要な道でした。

この道には1里（約4km）ごとに一里塚松があり、道の両側に3間（約6km）ごとに街道松が植えられ、美観と共に旅人に便宜を与えていました。

この一帯にも文政2（1819）年には68本の杉並木があったとされています。しかし、現在は桜尾に残るこの1本のみとなりましたが、昔の面影をしのばせています。

はぶらり
はつかいち

第
22
回

- 問1) 一里塚松は、約4キロごとに原則両側に塚を築き、松を植える事を広島藩は指定したようですが、街道松については、松と杉など地域の実情にまかせたのでしょうか。
- 問2) 記事中の杉並木68本の内容は、杉〇〇本、松は〇〇本などと判れば教えてください。
- 問3) 一里塚松と街道松は双方が併存する場所となった時には、どのようにされたのでしょうか。
- 問4) 西国街道は、外国との貿易などでの長崎奉行などとの連絡もあり、5街道に次ぐ脇街道として重要視されてきたとは思いますが、何処から何処までを西国街道というのでしょうか。

街道松について

問いに対する参考文献等出典について

【参考】

廿日市町史通史編（上）第五節 交通の発展 1. 陸上交通と宿駅制度 P841～847)

廿日市町史資料編Ⅲ（P207～222 往還並木関連）

廿日市の文化 第16集（P18～20）

同 第9集（山陽道行程記にみられる廿日市 P29～）

P41 注目

岩戸山の崖下を進むと、五日市村と廿日市村との村境である。

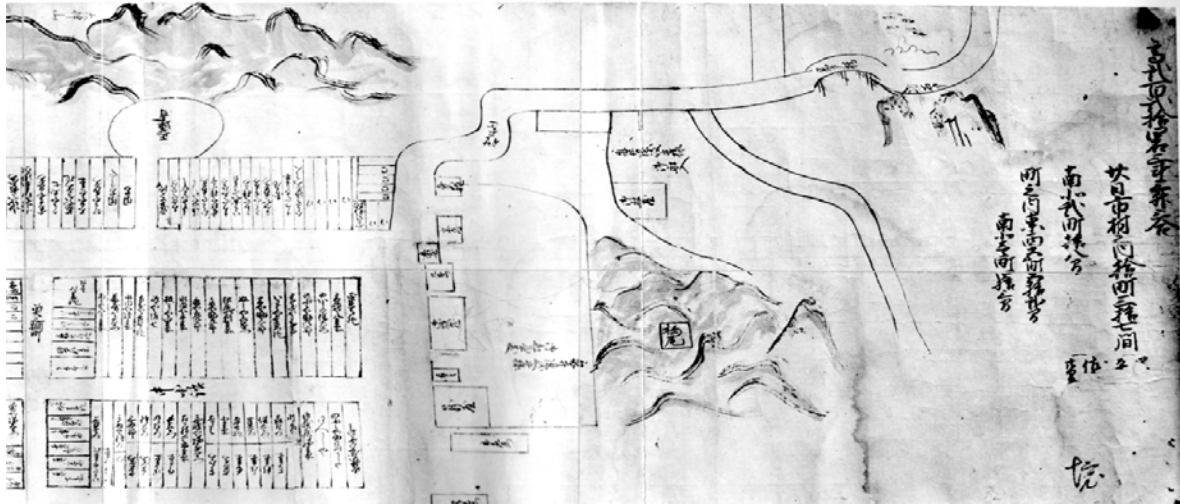
五日市村と佐方村との村境でないのはなぜだろうか。しかし、現在の五日市町と廿日市町の境界とは一致している。村境の五、六十米西が一里山である。「此一里山は広島船場より三里周防尾瀬川境より六里前後三十六丁」とある。**道をはさんで二基の基段があり、その上に木が植えてあるのが明確に描いてある。**（下図 赤枠内）

寛文の廿日市町屋図には道の北側に岩上の松が一本描いてある。南側には岩か山の意味の描画があり「石戸」とある。昭和十年代頃まで北側には岩層の大きな露出があった。



「行程記」

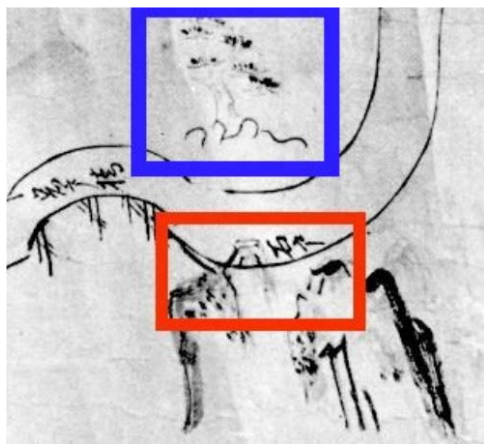
街道松について



云・寛文年間(1661〜72)
吉市 山口義邦家所蔵(原寸 48×205cm)

寛文年間 廿日市町屋図部分

寛文年間 廿日市町屋図部分拡大



道の北側に岩上の松

南側には岩か山の意味の描画があり「石戸」と表示

図説 廿日市の歴史

芸藩通志 巻2 頼 杏坪 / [ほか] 編著 国書刊行会

(巻五十一 安藝國佐伯郡二 官道駅(えきたん・・宿駅) 西國路 P739~)

廿日市の歴史探訪(1) (佐方の一里塚 P6~)

大野の西国街道を歩く 著者 中川 正 (P113~)

(以上所蔵先 はつかいち市民図書館)

【参考 WEB】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%80%E9%87%8C%E5%A1%9A>

ウィキペディア「一里塚」

※一里塚(いちりづか)とは、大きな道路の側に1里(約3.927キロメートル)毎に旅行者の目印として設置した塚(土盛り)である。塚の側に榎の木を植えたり標識を立てたりしていた^[1]。

出典[1] [国土技術政策総合研究所資料\(PDF\)](#)・国土交通省 国土技術政策総合研究所

街道松について

<http://kirara.pref.yamaguchi.lg.jp/mag/html/vol213/omoyama.php>

Q おもしろ山口学

萩藩絵図方の独創的で華麗な絵図類(後編)

-萩から江戸まで23帖にも及ぶ街道図の大作「行程記」-

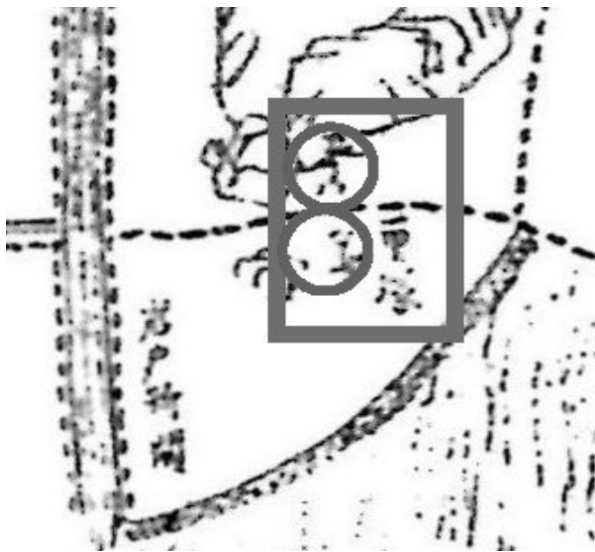
http://ymonjo.ysn21.jp/user_data/upload/File/kiyou/041/kiyou41-02.pdf

[PDF][近世街道絵図「中国行程記」について](#) - 山口県文書館

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A5%BF%E5%9B%BD%E8%A1%97%E9%81%93>

ウィキペディア 西国街道

近世の山陽道について説明しています。古代・中世などの山陽道については「[山陽道](#)」をご覧ください。



芸藩通志 佐方村部分拡大

街道の南北に松の描写か(丸印)

←「一里塚」と表記

以上文献・資料

見解

①松は、針葉樹としては温度の適性が広く、亜熱帯や熱帯に分布する種でも摂氏-10度程度の低温・組織の凍結には堪えて生存するということから、街道松としたのではないか。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%80%E9%87%8C%E5%A1%9A>

ウィキペディア「一里塚」の

出典[1] [国土技術政策総合研究所資料](#) (PDF) - 国土交通省 国土技術政策総合研究所より

P29「諸外国の人が見た江戸時代の道路」で、街道の様子が5人の紀行文等によりうかがい知れる。

街道松について

②広報では文政2年(1819)68本の**杉並木**と記載。これは廿日市の文化 第16集 P20 「西国街道の松並木」の5行目に「街道の松並木は岩戸橋より東町屋の入口までに六拾八本・・・」とあり、街道松とよばれることから、すべて松並木であったのではないかと推測。

③資料なく不詳。

④<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A5%BF%E5%9B%BD%E8%A1%97%E9%81%93>

ウィキペディア 西国街道 参照

最後に、

廿日市町史通史編(上)に記載の脚注から該当する文献を片っ端から納得いくまで当ることが肝要。

参考となる文献・Webを網羅していますので、図書館・ネットで目を通されることをお勧めします。

2年くらい前、街道松の説明板10行目に文化2年(1819)とありました。1819年は文政2年で、「化」を「政」に修正するように市に連絡。現在は文政2年に改められています。年号など要注意です。

